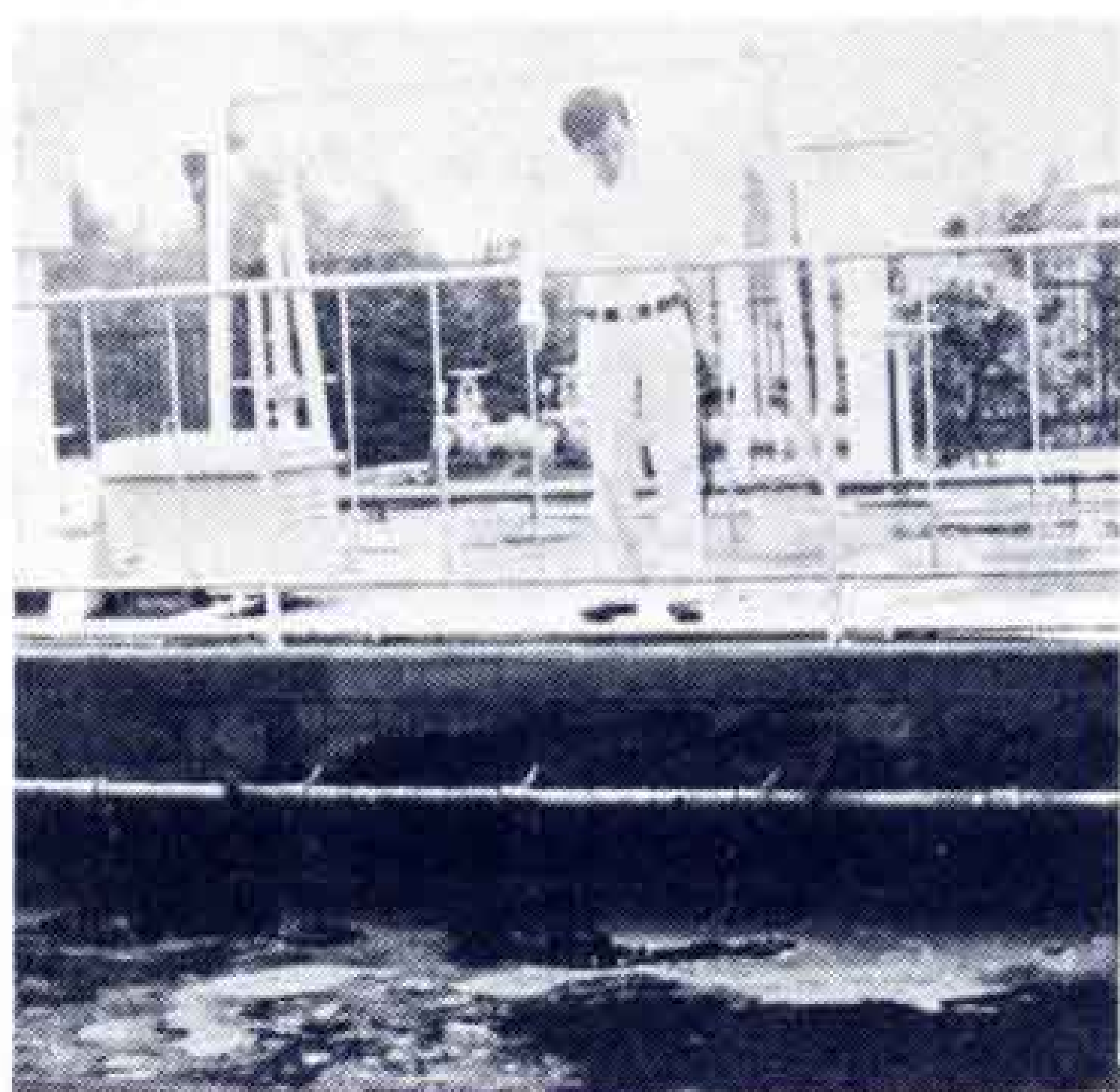




スカムの汚れが目立った8月頃

合成洗剤と粉石けんでは、下水処理に及ぼす影響がどのように違うのか。富士見台地区で行われたテストの中間結果がまとまりました。

富士見台下水処理場には、近年スカムと呼ばれる泡状のカスが発生し処理機能に大きな影響をもたらしていました。その原因は、石油系の合成洗剤ではないかと考えられ、市は、富士見台団地1,661世帯5,550人に対して9月から12月までの4ヵ月間、植物性粉石けんを無料配布し、これで洗たくをしてもらい、スカムを取除くテストを行っています。

粉石けん 下水道

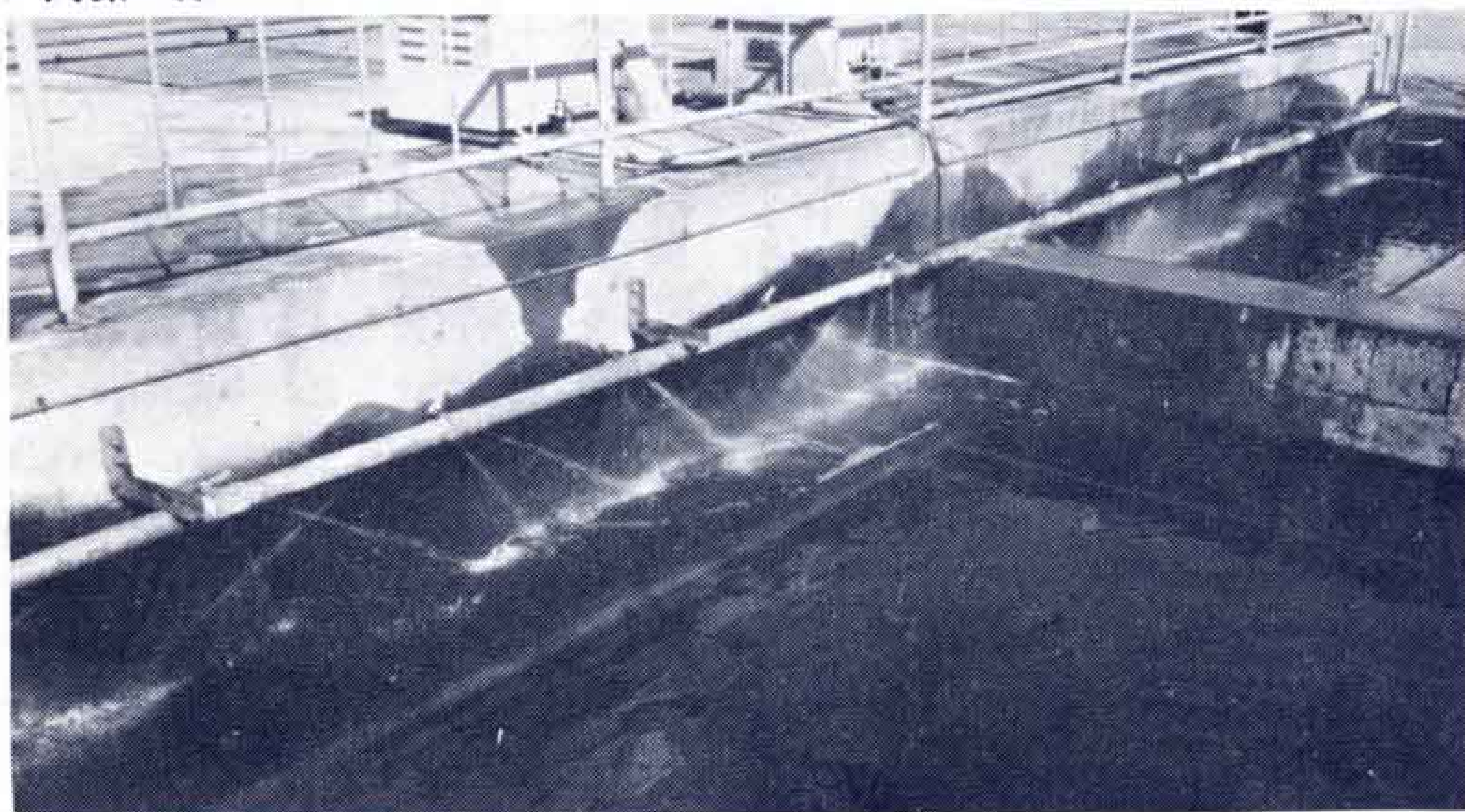
ずっと良くなった水の汚れ

テストの結果は、中間報告の段階で早くも粉石けんの優位性が実証されました。

調査項目は、水質汚濁や悪臭などに関係の深いBOD（生物化学的酸

素要求量）やCOD（化学的酸素要求量）SS（浮遊物質）など23種類におよんでいます。

下水道処理施設への流入水は、テスト前後8月と9月では使用量が違



すっかりきれいになった最近の処理場

うので、単純に比較はできませんが、水の汚れの目安となるBODは流入水時1ℓ当たり199.0mgが181.0mgに、放流水時には4.2mgが2.1mgと2分の1に好転しました。

このほかCODも減少し、放流時の透明度も48%から50%と良くなりました。

また流入下水のリンは44～66%減り、陰イオン界面活性剤については62%減りました。これは地域住民が協力し、積極的に粉石けんを使用したことの現われでもあります。

浄化効率も上がる

下水道課計画担当主査の渡辺佐一郎さんは「とにかく浄化効率がずっとよくなりました。下水処理にとって必要な微生物が2.3倍くらいに増え、反対にスカムを発生させる悪い微生物

みんなの力でさらに大きく

—— 国民年金に加入しましょう ——

国民年金は、働けるうちに掛け金（保険料納付）をして、としをとったり、病気やケガで働けなくなったときに年金を受けて、生活の不安をなくそうとする制度です。

富士市では、現在4万5,000人が国民年金に加入し、1万2,500人が年金を受けています。

国民年金に加入しなければならない人は、農林漁業、商工業やサービス業などの自営業者、5人未満の事

業所の従業員と、これらの家族で、厚生年金など他の年金制度に加入していない人です。

またサラリーマンの奥さんなどは、希望すれば任意に加入することができます。

保険料は、昭和55年度の場合、定額で1ヵ月3,700円。年金受給額は、物価に応じて改正しますので将来目減りすることはありません。

国民年金はみんなの制度です。



みんなが加入して、さらに大きく育てましょう。

加入手続きは市民課でできます。



粉せっけんの方が安全性も高いのネ

処理に好結果

が減ってきたのです。さらにリンも減っていることから河川への影響も良い結果となるでしょう。



市下水道課
渡辺佐一郎さん
(33歳)

このテストから、人体によくないと言われているものは、やはり微生物にもよくないのだなあということを感じました。

洗剤だけでなく、トイレ用の色々な家庭用薬剤が市販されていますが用途をよく考えて使ってほしいと思いますね」と話していました。

植田勝代さん
(38歳)
富士見台2丁目



便利さだけでなく…

「家ではずっと合成洗剤を使っていたので、実のところ粉石けんは、ちょっと使いにくい面もあります。でも思いのほかよくおちますねエ。

下水処理場の結果を聞きましたがよかったですね。

私の知り合いで粉石けんに切り換えたなら手の荒れがなくなったという人がいます。

便利さだけでなく、特に主婦は家族の健康のことを第1に考えなくてはと思います」



横断歩道が

消えかけているが

(こえ) 市内で見かけたのですが、横断歩道の白線が半分以上消えてしまっているところがありました。

交通事故防止のうえからも書きなおしていただきたいと思います。

どこえ、どのような連絡をすればよいのでしょうか。教えてください。
(比奈Wさん)

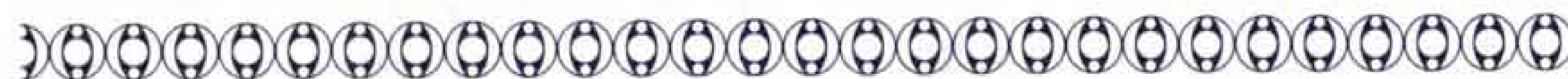
(こたえ) 歩行者を交通事故から守るために、横断歩道は、常に整備しておく必要があります。

ご質問の横断歩道は、県公安委員会で書きますので警察署へ申請するようになります。

市交通課でも窓口となっていますので、電話でもご連絡くだされば警察署へ申請します。

なお富士警察署では、横断歩道の整備を積極的に進めていますので、具体的な場所を教えていただきたいと思います。

(市交通課)



グループ訪問③

“おかあさんと一緒に楽しいな”

岩松カナリヤの会

子どもとお母さんが、紙のこけしづくりに熱中している。

子どもが、タバコのあき箱をていねいにひろげ、お母さんが寸法線を引く、親子の共同作業である。

岩松カナリヤの会は、毎月1回アミ引きや、ファミリーキャンプなどで親と子が楽しんでいます。

会員は、小学校1年生から4年生までの子どもとおかあさん、30家族

です。

「この会の目的は、学業本位になりがちな現代社会の中で、親子が同じことを一緒にする、親子のふれあいですね。現代っ子が一番喜ぶのは、昔の道具を使ってものをつくる時です。石うすを使ってダンゴをつくった時は、みんな興奮気味



でしたよ」と運営委員長の平野禎子さんは話してくれました。